

NIPPON KINZOKU

みがき特殊帯鋼 熱処理シリーズ

精密焼入れ鋼帯

特長

- ① 予め熱処理を施しており、特性を得る為の熱処理が不要であり、当社ベーナイト材よりもさらに高硬度が得られます。
- ② プレス加工後の熱処理に伴う形状変化の心配がなく、手直し工程の省略(=コストダウン)が期待できます。
- ③ お客様のご要望により、様々な鋼種を選択できます。

適応鋼種

区分	鋼種記号と主な化学成分
炭素鋼	S60C (C%:0.60) S65C (C%:0.65) S75C (C%:0.75)
炭素工具鋼	SK85 (C%:0.85) SK95 (C%:0.95)
合金工具鋼	SKS81 (C%:1.20)
ステンレス鋼	SUS420J2 (C%:0.35 Cr%:13.5)

※その他の鋼種についてはご相談下さい。

表面仕上・エッジ形状・硬さ

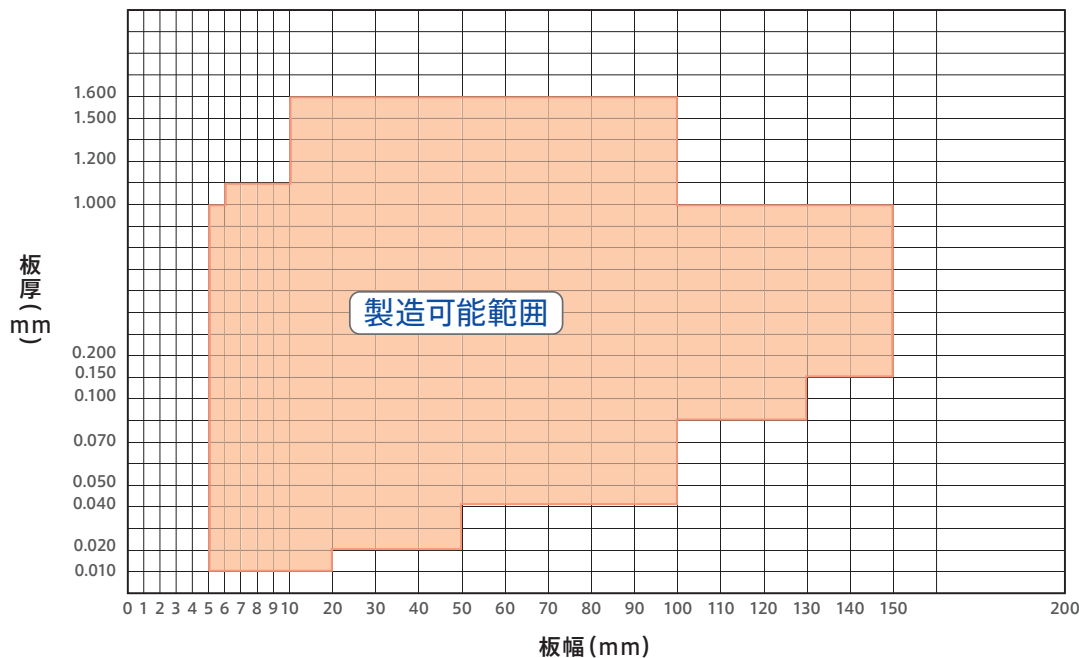
〈表面仕上げ〉

	仕上げ	硬さ (HV)	内容
仕上げ ↓ 炭素工具鋼 ↓ 合金工具鋼	光輝白	400 ~ 600	熱処理時に白色に仕上げたもの
	光輝青		熱処理時に青色に仕上げたもの (~ HV560)
	光輝茶		熱処理時に茶色に仕上げたもの (HV560 ~)
	研磨白		熱処理～研磨して白色に仕上げたもの
	研磨青		熱処理～研磨後、青色に仕上げたもの (~ HV560)
	研磨茶		熱処理～研磨後、茶色に仕上げたもの (HV560 ~)
ステンレス鋼	焼入 2号	400 ~ 550	熱処理時に白色に仕上げたもの
	焼入 4号		焼入れ 2号にバフ研磨を行ったもの

NIPPON KINZOKU

精密焼入れ鋼帯

製造可能範囲



※寸法, 硬さ共に範囲外のものについてはご相談ください。

※本資料に記載された特性値等の技術情報は、製品の一般特性を説明する為のものであり、規格値を除き保証値を示すものではありません。また、本資料記載の技術情報を誤って使用したこと等により発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。